

# 令和6年度 ESD for 2030学びあいプロジェクト 実施計画案

R6年5月8日



関東地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development



関東地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

# 「ESD for 2030学びあいプロジェクト」とは？

## ＜プロジェクトの目的＞

- 特定のテーマや課題に関心を有する様々な主体が地域を越えて参加し、相互の学び合いや実践活動を通して各主体の活動の向上を図るとともに、得られた知見を活かし同様の取り組みを全国に広めていくこと

## ＜プロジェクトの進め方＞

- 全国8カ所の地方ESD活動支援センターが、地域の課題や各センターの強みを考慮してテーマを設定し、プロジェクトを運営
- 「気候変動教育」を全国統一テーマとして設定
- テーマ・目的に沿って、メンバー同士の勉強会やESD活動の企画・実践

# R6年度企画の狙い

## <R4-5年の振り返り>

- R4年、「気候変動じぶんごと化プロジェクト」として、「気候変動×地域の地理×防災」で、身近で多様な社会課題とつなげて、千葉県流山市で、取組意欲向上を目指すプログラムを開発
- R5年は、「気候変動×防災×○○」千葉県流山市、千葉県佐倉市、神奈川県川崎市、静岡県伊豆市へプログラムを水平展開

## <R6年の狙い>

- これまで開発したプログラム「気候変動×地域の地理×防災」をベースに、自立電源を実践する地域をモデルとし、気候変動、防災への具体的アクションを促進
- 実践方法のとりまとめ、セミナー等、プログラムの普及に向けた取組み

# プログラム概要

## 目的

- 気候変動への対応の必要性の理解
- 自立電源の災害時の活用の理解
- 再生可能エネルギーによる脱炭素社会への理解

### 原因の理解 (地球規模)



地球規模課題の気候変動を理解する(特に適応策)

### 環境教育

「地球温暖化の進行により雨の降り方が極端化」する事により、水害リスクが増大する原因について理解する。

### 原因の理解 (地域レベル)



地域固有の具体的な防災上の危険個所と、その理由を理解する

### 地理教育

温暖だった縄文時代の海岸沿いに残された遺跡、水害ハザードマップから、地域の地形的な特徴を理解する。

### 対症法の理解

災害が起きた際の対応力を身に付ける



### 防災教育

災害時に、地域にある自立電源の活用方法や、テント設営、可搬蓄電池の活用方法などを体験する。

## 実践

- 気候変動の緩和・適応の実践
- 災害への備え、発災時の対応の実践

# モデル地域の検討

学びあいプロジェクトの目標	気候変動、災害に対し、対応力のある人材の育成	
モデル地域候補	①神奈川県山北町	②千葉県柏市
ESD拠点	自然エネルギー推進機構	銀座環境会議
実施時期	未定	10-11月
メインターゲット	県立山北高校生	柏・松戸の社会福祉法人のネットワーク
サブターゲット	地域住民 行政	地域内外の福祉、環境活動団体 行政
地域の自立電源	小水力発電@山北町パークゴルフ場	太陽光@ザザビー・ドゥ(障がい者通所施設)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「総合的な探究の時間」を活用し、プログラムを実施</li> <li>その後、高校生は自身が興味ある地域課題の解決に向けた施策を検討し、2月に地域で発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉法人に対してプログラムを実施。気候変動、再エネへの理解を深め、その拡大につなげる</li> <li>公開実施とし、地域内外の福祉事業者や住民の参加を促す</li> </ul>
備考	5/14山北高校打合せ予定	

# プロジェクト実施の流れ

6月

## 第1回 プロラム検討会（オンライン）

プロジェクトメンバーが、それぞれのプログラム案を紹介し、アドバイザー・グループからの意見を基に、プログラム案のブラッシュアップを行う

7～11月

モデル地域  
プログラム実践

それぞれのモデル地域で、  
気候変動、災害リスク、  
停電時の対応を学ぶプ  
ログラムを実施

神奈川県山北町  
小水力発電

ESDプログラム実施

高校生  
地域住民等

千葉県柏市  
太陽光発電

ESDプログラム実施

社会福祉法人  
地域住民等

それぞれのモデル  
地域を互いに訪  
問し、学び合う

実践方法のとりまとめ、プログラムの普及に向けたガイド案作成

12月

## 第2回 プロラム検討会（オンライン・公開を前提）

プロジェクトメンバーが参加し、実施内容の振り返り、今後の展開について考える

# プロジェクトメンバー

## アドバイザー・グループ

お名前	ご所属	専門分野
阿久津 正浩	国立環境研究所 気候変動適応センター 気候変動適応チーフコーディネーター	気候変動
青島 加奈	静岡県地球温暖化防止活動推進センター 事業統括マネージャー	気候変動
二ノ宮リム さち	立教大学	ESD
矢口輝美	流山防災まちづくりプロジェクト	避難所・ジェンダー
根本太一郎	土浦日本大学中等教育学校	教育

## モデル地区

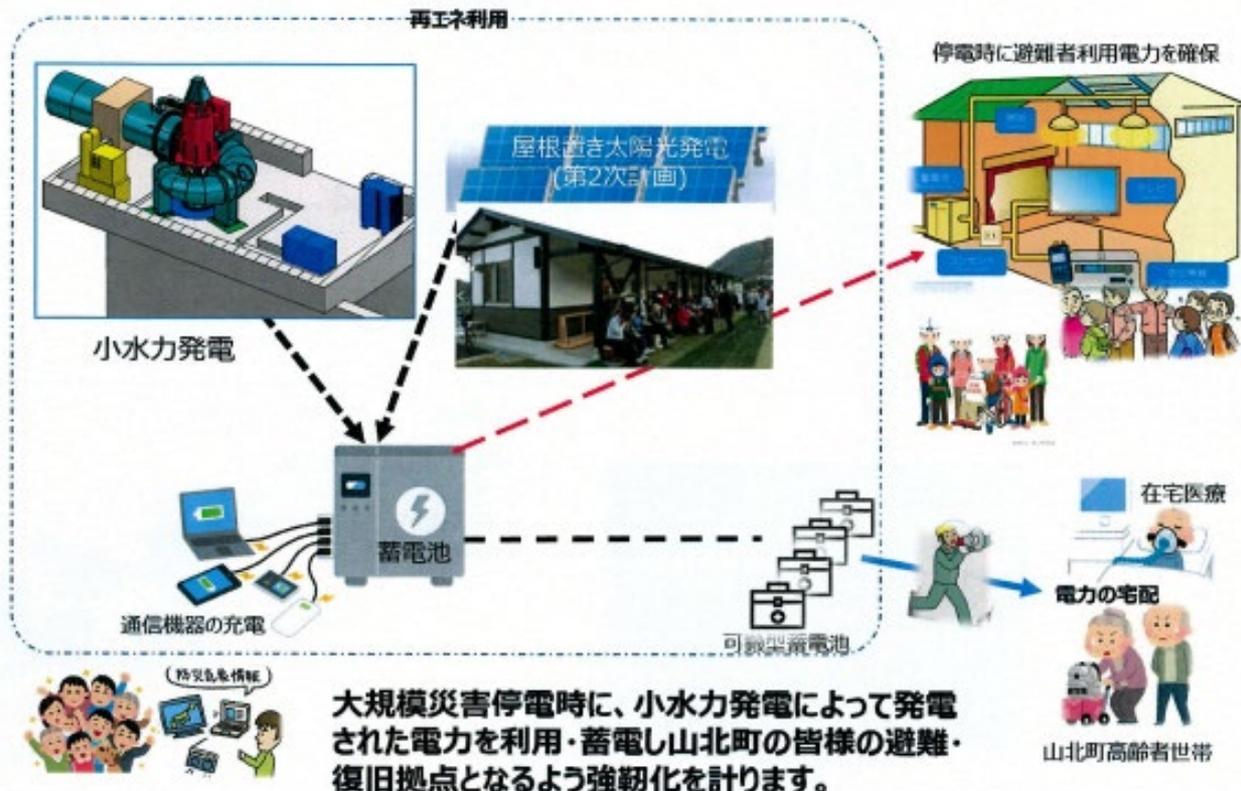
団体名	実施地域	再エネ分野／対象
(一社) 自然エネルギー推進機構	神奈川県山北町	小水力+可搬蓄電池
(一社) 銀座環境会議	千葉県柏市	太陽光+固定蓄電池

## <参考> 神奈川県山北町 小水力発電

- ✓ 一社) 自然エネルギー推進機構は、地域密着型の再生可能エネルギーを推進しており、2023年に山北町パークゴルフ場に小水力発電を設置
- ✓ 災害時に、市民や観光客が自由に利用できる防災電力としての利用を目指す

### パークゴルフ場管理等 災害時防災拠点イメージ

大規模停電が発生した時にはパークゴルフ場管理棟を避難住民の非常用電源として利用します。



# <参考> 千葉県松戸市・柏市 太陽光発電

- ✓ 一社) 銀座環境会議では、「松戸そらびかプロジェクト」として、松戸および柏市で4か所で太陽光発電を設置（1か所建設中）
- ✓ 再生可能エネルギー促進によるCO2削減、地球温暖化抑制を目指す銀座環境会議と、地域に開かれた施設づくりを目指す社会福祉団体との協働



名称	設置場所	設置者	蓄電池	備考
松戸そらびか発電所第1号	新松戸リバイバルチャーチ (松戸市新松戸)	新松戸リバイバルチャーチ		
松戸そらびか発電所第2号	障がい者グループホーム (非公開)	(社福) 彩会	あり	
柏そらびか発電所第1号	ザザビー・ドゥ (柏市増尾)	(社福) 彩会		学び合い事業 開催候補
柏そらびか発電所第2号	自立援助ホーム南柏 (柏市南増尾)	自立援助ホーム南柏	設置予定	建設中